

報告書整理番号第83号

国際文化観光・スポーツ常任委員会県内調査報告書

平成30年8月3日（金）に、「文化の振興に関する事項について」及び「第32回オリンピック競技大会及び東京2020パラリンピック競技大会に関する事項について」について調査を実施したところ、その概要は次のとおりでした。

神奈川県議会議長 桐 生 秀 昭 殿

国際文化観光・スポーツ常任委員会 委員長 高 橋 栄一郎

国際文化観光・スポーツ常任委員会  
県内調査報告書

平成30年8月3日（金）

## 1 調査の概要

- (1) 調査箇所 かながわアートホール、セーリング競技レースエリア
- (2) 出席委員 高橋(栄)委員長、池田副委員長、  
川本、瀬戸、内田、梅沢、佐藤(光)、浦道、作山、西村、長友、  
石川(裕)の各委員
- (3) 調査日 平成30年8月3日(金)

## 2 かながわアートホール

### (1) 調査目的

かながわアートホールは、県民の文化芸術に関する活動の振興及び福祉の増進を図るため、平成4年4月に開館し、平成27年4月から(公財)神奈川フィルハーモニー管弦楽団グループが指定管理者として管理運営を行っている。平成24年10月の神奈川県緊急財政対策により、移譲を含めた検討という方向性が出されていたが、本県の文化芸術施策を取り巻く状況の変化等から、移譲を取りやめ、引き続き県有文化施設の一つとして所管し、文化芸術の発信の場として有効活用していくこととしている。

そこで、当施設を調査することにより、文化の振興に関する委員会審査の参考に資する。

### (2) 主な説明項目

#### ア 指定管理者

平成21年4月から平成27年3月まで(財)神奈川芸術文化財団が、平成27年4月1日から平成32年3月31日まで(公財)神奈川フィルハーモニー管弦楽団グループが指定管理者として管理運営している。構成団体は、(公財)神奈川フィルハーモニー管弦楽団と(株)横浜アーチストとなっている。

#### イ 施設の利用状況

ホール、第1から第5スタジオが利用されており、過去5年間の状況について、平成25年度と平成29年度を比較すると、第1、第2スタジオとも、利用日数、利用率が下がっているが、第3、第4、第5スタジオについては利用日数、利用率は上がっている。利用人数についても、平成25年度と比較して平成29年度はそれぞれの施設の利用人数が増加している。主な利用目的について、オーケストラ、楽団の利用が多い。

#### ウ 平成29年度主催事業実施状況

次世代を担う子供たちに、音楽を通じて創造性や協調性、挑戦する心を育むことを目的としたみんなの音楽プロジェクト、区政90年を迎えた保土ヶ谷区から委託を受け、ほどがや区民祭りの開催日に合わせて区政90周年記念イ

ベント打楽器スペシャルを開催するなどの依頼公演等、各種事業を実施している。

(3) 主な質疑応答

質 疑 利用状況について、第3、4、5スタジオと大体似たスタジオなのに、なぜ第4スタジオだけ利用が少ないのか。

応 答 第3、4、5スタジオと並んでいるが、それぞれ好みがあるようで、そういったことが影響している。

質 疑 収入の中の立替収益というのはなにか。

応 答 電気について、アートホールの中にレストランがある。また、アートホールの設備を通して保土ヶ谷公園の施設であるラグビー場と体育館の施設がある。その電気代の請求がまとめてくるため、レストランとラグビー場にそれぞれ請求している。

質 疑 今の施設の予約というのは、インターネットでの予約ではないのか。

応 答 今は電話で予約、若しくは窓口での予約としている。インターネットに慣れている人がいるという意見ももらっているので、そういったことはこれからの課題と考えている。

質 疑 全体として、指定管理者になり3年くらいになるが、その中で大きな課題はあるのか。

応 答 アンケートの結果を受け、すぐできることは極力行っている。例えばトイレの個室の電気がなく暗いという意見があったが、アンケートを受けてすぐに直したところ、個室が明るくなって気持ち良く利用できるようになったという意見を頂いた。

質 疑 アートホールにとって一番重要なのはどれだけ利用されているかなので、利用率ではなく、時間数で見るべきだと思う。例えば、前日だと9時から21時で12時間とあるが、午前午後夜間とそれぞれ一時間ずつの間があるので、10時間と仮定をした場合、利用率は利用日数というよりも利用時間分で実際利用された、いわゆるホールが埋まっていたという利用率でみると思うが、それはどうなのか。

応 答 具体的な数字は持ち合わせていないが、ご指摘の通り下がると思う。

質 疑 主要事業でお伺いするが、宣伝等において場所が最寄りの駅からくる方にとって距離があるという中で、催し物をやるときにピストン輸送をする、バスなどでお客を連れてくるといった施策を

何かやっているのか。

応 答 ピストン輸送は行っていない。公共交通機関を利用している。

質 疑 利用可能日の中で、神奈フィルが利用しているのはどれくらいあるのか。

応 答 おおよそ3分の1である。

質 疑 利用目的でオーケストラが多いが、その他の割合が多いが何かあるのか。

応 答 その他の利用について、範ちゅうに入れられないものをその他として分類している。

質 疑 収支についてだが、経費の削減はされているが、収入はあまり増えていない。これから安定的な経営を行うために、収入を増やすといったことは考えていないのか。

応 答 アートホールの収益のために、今、有料公演が少ないが、今後そういったものを増やしていくことや、利用率の向上について検討することで収入を増やしていきたいと考えている。

(※ 上記以外の質疑は、施設見学中に随時行われた。)



#### (4) 調査結果

かながわアートホールは、横浜市への移譲を取りやめ、引き続き文化芸術の発信の場、芸術活動をサポートする施設として利用されている。

以上のように、かながわアートホールを調査したことにより、今後の施策を審査する上で参考に資することができた。

### 3 セーリング競技レースエリア

#### (1) 調査目的

東京2020オリンピック競技大会のセーリング競技開催に向けた機運醸成のため、また、セーリングワールドカップシリーズが、今年から江の島において東京2020大会までの間に3回開催されることから、県は広報活動等の協力といった支援を行っている。

そこで、セーリング競技レースエリアの取組を調査することにより、第32回オリンピック競技大会及び東京2020パラリンピック競技大会に関する事項に関する委員会審査の参考に資する。

#### (2) 主な説明項目

##### ア 大会の日程

- ・平成30年は、セーリングワールドカップシリーズ江の島大会2018を開催する。大会の中で、オリンピックに必要なテストの一部を実施予定としている。
- ・平成31年は、テストイベント及びセーリングワールドカップシリーズ江の島大会2019を開催予定としている。
- ・平成32年は、セーリングワールドカップシリーズ江の島大会2020について、日程は調整中となっている。

また、東京2020大会でセーリング競技が実施される。

##### イ レースエリアに関する調整状況

平成29年11月7日に、組織委員会が関係する漁業関係者にレースエリア仮案を提示し、意見交換を行った。その後、平成30年2月22日に、関係する漁業関係者から仮案等に対する具体的な意見要望を取りまとめた要望書が組織委員会等に提出された。そして、漁業関係者からの要望及び競技団体からの意見を踏まえ、関係者間で調整した結果、6月28日には、実行委員会からセーリングワールドカップシリーズ江の島大会2018のレースエリアの実施予定が公表された。

#### (3) 主な質疑応答

**質 疑** お話によると、漁業関係者ともものすごくもめているという話を聞いているが、現在はどのような状況か。

**応 答** 漁業関係者との調整は引き続き継続中であるが、まずは大まかなところだと、レースエリアについて調整してきた。その上で、細部の詰めをいくつか行っている段階である。例えば、レースの時間帯や連絡方法など、こういったところの詰めを個別に組合に説明している状況である。

**質 疑** 江の島大会のレースエリアは、だいたいこのくらいの範囲を使って行うのか。

応 答 正式には2020年までに、これから行うテストイベントやワールドカップを踏まえて決定していくことになる。そういった意味では、このレースエリアはオリンピックを踏まえた上での今回の案ということなので、これで決まりではなく、これを踏まえて調整していくことになる。いずれにしても、今回の結果を踏まえてメリット・デメリット、ポイントを確認して、調整していく流れとなる。

質 疑 このレースエリアは、江の島大会が3年間あり、本大会までの中で微調整は入っていくのだろうが、ほとんど変わらないということで、漁業関係者とは一致点は見いだせているのか。

応 答 漁業関係者との話を進めている中で、少なくとも実行委員会が公表できるレベルまで意思統一が図られたというところである。もちろん、これで決まりということではないが、様々な条件、個別の条件、レース状況や結果など、実際にどのようにレースが運営されていくかも踏まえて、これからも調整が図られていくものと考えている。

質 疑 このレースエリアでは、漁業者のどのような権利が制約されるのか。

応 答 一般論ではあるが、大原則は海の上なので、漁業関係者は自由に漁業が出来る。その上で、レースエリアについては共同漁業権という、海岸に近いエリアについては、一定のところまでは組合ごとに漁業の権利を持っている。そういった部分も、このレースエリアには一部分入っている。

質 疑 漁業権が制約される部分と制約されない部分があるのか。それは、どのように線が引かれているのか。

応 答 共同漁業権が明確に入っているのはC1とC4のエリアで、ここについては、共同漁業権が設定されているエリアにレースエリアが関わっている。

質 疑 あとの部分は、自由通行の権利が制限されるということか。その部分は漁業者以外も同じか。

応 答 今の話は共同漁業権という、漁業をするための権利なので、他の方は海の上での活動は自由である。

(※ 上記以外の質疑は、レースエリア見学中に随時行われた。)



#### (4) 調査結果

セーリング競技レースエリアでは、セーリングワールドカップシリーズ及び東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の成功に向けて、関係団体等と調整を行い、大会の運営が円滑になるよう整備を進めている。

以上のように、セーリング競技レースエリアを調査したことにより、今後の施策を審査する上で参考に資することができた。



<参 考>

- 1 随 行 者 遠藤主事（議会局議事課）、矢野副主幹（国際文化観光局総務室）、小宮山副主幹（スポーツ局総務室）
  
- 2 調査箇所側出席者
  - （1）かながわアートホール  
河合国際文化観光局長、木口マグカル担当局長、大場文化課長、馬場アートホール館長、鈴木国際文化観光局企画調整担当課長、青木スポーツ局企画調整担当課長
  - （2）セーリング競技レースエリア  
平田スポーツ局長、三枝オリンピック・パラリンピック担当部長、矢島セーリング課長、鈴木国際文化観光局企画調整担当課長、青木スポーツ局企画調整担当課長